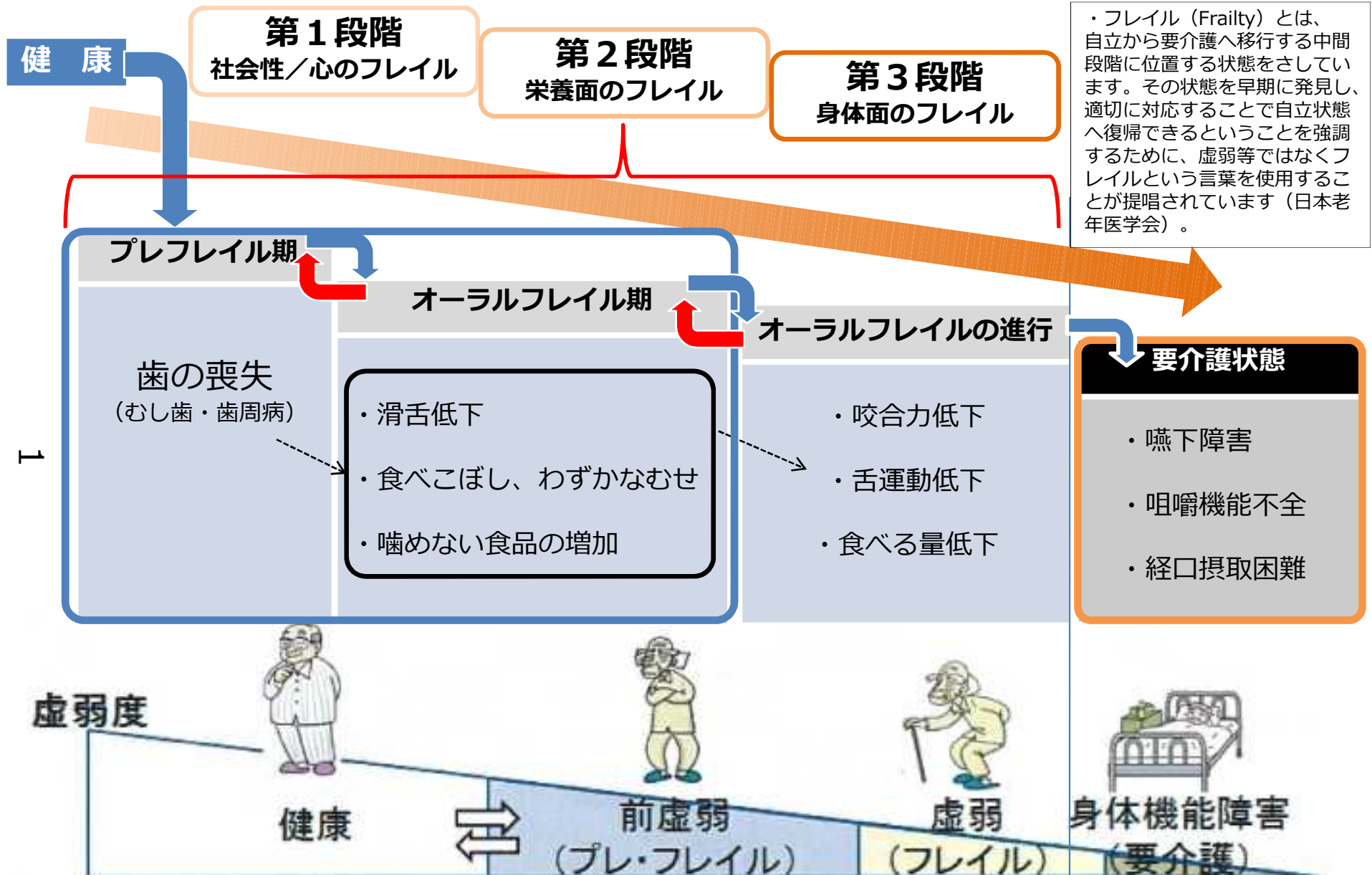


## 各団体の健康課題と取組

- 一般社団法人和歌山県歯科医師会----- P. 1
- 一般社団法人和歌山県薬剤師会----- P. 2
- 公益社団法人和歌山県栄養士会----- P. 3
- 和歌山労働局----- P. 4
- 全国健康保険協会和歌山支部----- P. 5

# オーラルフレイルの考え方



## 薬剤師の日常業務以外に当会が行っている主な健康向上活動

(一社) 和歌山県薬剤師会

### <県内各地での健康フェア>

本年度は和歌山市、新宮市、九度山町で開催し、健康に関する講演会・おくすり相談・脳年齢計や体組成計等での各種健康データの測定・調剤体験等を行い県民の皆様の健康意識向上に努めた。また、行政・医師会・歯科医師会・歯科衛生士会様等のご協力を得て各専門職による相談会等も同時に行った。

日 時	会 場	参加人数
10/28 (日)	和歌山市「プラザホープ」	7 5 0 名
10/28 (日)	九度山町「ふるさとセンター・中央公民館」	2 1 2 名
10/21 (日)	新宮市福祉センター (2 4 2 名)	3 2 2 名
	新宮商工会議所(講演会場) (8 0 名)	



### <会員薬局での「薬と健康相談会」の開催>

厚労省が開催する「薬と健康の週間」(10月17日～23日)にあわせて、県内各薬局一斉に標記相談会を各薬局店頭で開催した。開催は原則10月20日(土)午後か21日(日)の営業時間外とし、ゆっくり時間をかけて相談をお受け出来るような体制をとり、実施薬局でのポスター掲示と共に県内主要地方紙への広告掲載を行い告知した。

参加薬局：1 2 1 薬局      相談件数：2 2 4 件

主な相談内容は、「医療機関への受診や病院選択」、「ジェネリック医薬品」、「生活習慣病や食生活」、「サプリメント」、「残薬」等々についてであった。

### <学校薬剤師活動>

県内全ての小中高等学校と多くのこども園に学校薬剤師を配置し、教室や給食室の環境検査や飲料水検査を行い学校内の環境衛生向上に努めると共に、薬を正しく理解できるような授業を行っている。

### <スポーツファーマシスト活動>

県内の各競技団体にJADA(日本アンチ・ドーピング機構)認定のスポーツファーマシストを配属し、ドーピング違反特に「うっかりドーピング」を避けるための研修会や相談会を行っている。特に和歌山国体ではスポーツファーマシスト及び当会会員が分担して24時間の相談受付体制を取り、アスリートからの相談を受け付けた。

## 公益社団法人和歌山県栄養士の健康づくりの取り組み

### ○会の概要

事務所所在地：和歌山市手平二丁目1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 6階

TEL：073-426-4616 FAX：073-427-2487

栄養士の資質向上を図り、和歌山県民の栄養改善に努め、もって県民の健康増進に寄与することを目的とする

会員数:408名 H30.3末現在

職域部会：医療、学校健康教育、勤労者支援、研究教育、公衆衛生、地域活動、福祉

支部体制：概ね保健所圏域単位

### ○健康づくり事業の概要

#### ①栄養改善普及事業

メディアやインターネット等を通じて広く、正しい栄養情報を発信して県民の栄養改善、健康増進の普及を図る。

- ・「ヘルシーダイアリー」の配布による正しい栄養知識の普及
- ・インターネットを活用した普及啓発(会ホームページ掲載)  
「毎日の暮らしに役立つ健康料理レシピ」「スポーツ栄養学」
- ・健康情報誌等への健康料理レシピ掲載
- ・「栄養の日(8/4)・栄養週間」普及啓発

#### ②栄養ケア・ステーション事業

食生活に起因する疾患等の予防のため、地域住民や各種団体をからの食事や栄養に関する相談や講習会・研修会の依頼に応じる事が出来る相談受付窓口を開設し、食に関する幅広いサービスを展開し県民の健康増進を図る。

- ・地域住民のための栄養相談
- ・特定保健指導
- ・地域包括ケアシステム構築の推進  
地域ケア個別会議への参画
- ・糖尿病等の疾病の重症化予防  
糖尿病性腎症重症化予防に関する保健指導
- ・災害食研修会(含:パッククッキング調理実習)

#### ③地域食育推進事業

県内の各地域で、一般県民対象に行われているイベントに合わせて食事バランスガイドによる指導や食育クイズやパンフレットの配布等を実施し、野菜摂取増加、食塩摂取量の減少など食生活に起因する諸問題について全ての世代での食育の推進を図る

- ・「わかやま健康と食フェスタ2018」等イベントでの啓発

# 和歌山労働局における健康づくりに関連する

## 取組や課題、今後の展望について

和歌山労働局労働基準部

健康安全課

第13次労働災害防止計画（計画期間：2018年4月1日～2023年3月31日）において、労働者の健康確保のための重点施策として以下の取組を掲げている。

### ア 過重労働による健康障害防止対策及びメンタルヘルス対策

- ・ 労働時間の客観的な把握、恒常的な長期労働を発生させない労務管理等の徹底
- ・ 一定規模以上の事業場へのストレスチェックの完全実施に向けた指導徹底、ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善の取組推進

### イ 化学物質等による健康障害防止対策

- ・ 化学物質の危険有害性に係るラベル表示と安全データシート（SDS）の交付
- ・ 雇入れ時教育等の保護具の正しい着用方法・ラベルSDSによる情報理解等の徹底
- ・ リスクアセスメントの実施と結果に基づく作業等の改善推進
- ・ 石綿ばく露防止に向けた解体工事現場の早期把握
- ・ 受動喫煙防止対策の普及・促進

### ウ 腰痛及び熱中症対策

- ・ 腰痛や熱中症が懸念される業界団体への災害防止の要請
- ・ WGBT値測定の普及、その結果に基づいた対策実施の指導

### エ 定期健康診断有所見率改善対策

- ・ 関係機関との連携による取組気運の醸成
- ・ 地域産業保健センターとの連携強化による産業保健機能強化

また、同計画では、傷病を抱える労働者が就労の継続ができるよう、治療と仕事の両立支援対策を掲げ、以下の対策に取り組んでいる。

- ・ 和歌山県地域両立支援推進チームの活動により企業・医療機関等の具体的連携推進
- ・ 産業保健総合支援センターにおける研修の実施等支援
- ・ 労働者、主治医、企業・産業医のコミュニケーションサポートを行う「両立支援コーディネーター」の養成

協会けんぽ和歌山支部の取り組み、課題について

1. 特定健診受診率

		平成29年度健診受診率				平成30年度健診受診率（速報） (H31.1時点の取得データによるため、確定値ではありません。)			
		和歌山支部		全国平均	順位	和歌山支部		全国平均	順位
		目標	実績			目標	実績		
全体		65.0%	41.9%	48.5%	43位	45.0%	32.6%	34.6%	38位
内訳	生活習慣病予防健診	60.4%	44.3%	49.6%	43位	46.2%	33.1%	36.6%	40位
	事業者健診データ取得	16.6%	5.6%	6.4%	33位	6.8%	7.2%	4.3%	<b>10位</b>
	特定健診（被扶養者）	30.0%	17.3%	23.2%	<b>47位</b>	20.6%	<b>8.4%</b>	12.6%	<b>46位</b>

・特定健診（被扶養者）の受診率について、全国最下位クラスで継続しており、広報の強化、受診環境の拡大が必要。  
 ①がん検診、特定健診等受診に関する意識向上に向けて、県民に対し、県や市、保険者が一体となった広報が出来ないか。（健民の日の設定等）  
 ②県内市町村（30地域）のうち、24地域において、市町村とのがん検診同日実施による集団健診を実施（H31予定含む）しているが同日実施に至っていない地域（6地域）もあり、県内全域で実現していきたい。

2. 各種リスク保有率（平成26～28年度）

メタボリスク保有率			喫煙率			血圧リスク保有率			代謝リスク保有率			脂質リスク保有率		
26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
13.5%	12.7%	13.8%	30.4%	29.7%	30.1%	<b>43.0%</b>	<b>42.9%</b>	<b>43.5%</b>	14.2%	13.1%	13.7%	26.7%	24.5%	26.6%

・血圧リスクの保有率は、受診者の40%を超えており、全国比でも特に高い状況。

・喫煙率については、女性の喫煙率が全国に比べ高い。（項目3. 喫煙率を参照）

3. 喫煙率(平成28年度)

和歌山支部		
<b>30.1%</b>	(男)	42.0%
	(女)	15.5%

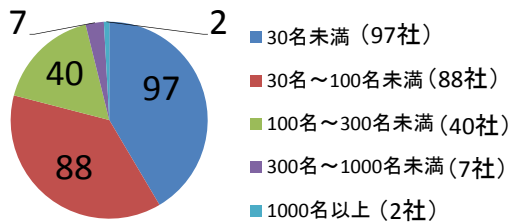
※下線ありは、支部平均より高い年代。

年齢	40歳-44歳	45歳-49歳	50歳-54歳	55歳-59歳	60歳-64歳	65歳-69歳	70歳-
(男)	<b>47.5%</b>	<b>45.5%</b>	<b>43.4%</b>	<b>43.0%</b>	35.7%	28.8%	23.8%
(女)	<b>18.9%</b>	<b>18.6%</b>	<b>18.0%</b>	14.7%	9.5%	7.3%	3.6%

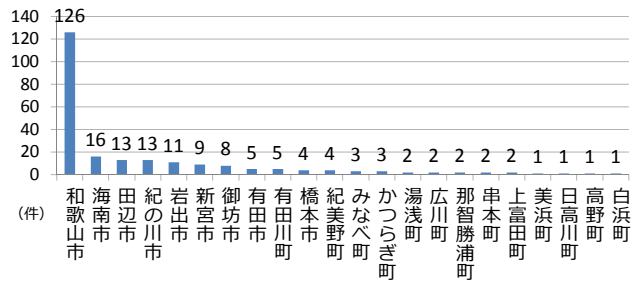
・支部平均より高いのは、男女とも、働き世代である40-59歳代の喫煙率が高く、なかでも40-44歳が最も高い。

4. わかやま健康づくりチャレンジ運動 現：登録事業所数 246社（内、組合管掌12社） ※下記A～Cは、組合管掌分除く。

A. 加入者規模別



B. 事業所所在地別



C. 業態別

